

コンクリート冷却システム
NEW **ドラムクーリングカバー**



気化熱利用

 **Sh/nto**
sangyo 新東産業株式会社
<http://shintosangyo.com>

NEW コンクリート冷却システム ドラムクーリングカバー



今や、暑中コンクリート対策で広くご使用して頂いております、ドラムクーリングカバーが新しく生まれ変わりました。

ドラムクーリングカバーは、散水・吸水後の走行により、独自の複合繊維が気化を促進して暑中コンクリートの泣き所であった運搬中における生コンクリートの温度上昇を抑制致します。

開発から10年を経過した現在、ご使用して頂きましたお客様からは、温度上昇の抑制とともにスランプロスの低減・ドラム内部へのコンクリート付着の減少・洗車作業の短縮など数多くのお褒めの言葉を頂戴致しました。

『NEWドラムクーリングカバー』は、今まで架装メーカー様毎にサイズの異なる製品を製造して参りましたが、マルチタイプ(*1)となり新登場しました。

異なるメーカー様の車種に於いても取付が可能となり、幅広い汎用性が発揮されることとなります。

*1 対応車種 下記大型10トン車

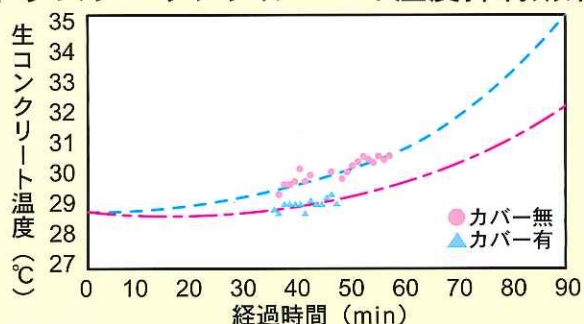
K Y B 社 平成9年以降

新明和社 平成2年以降

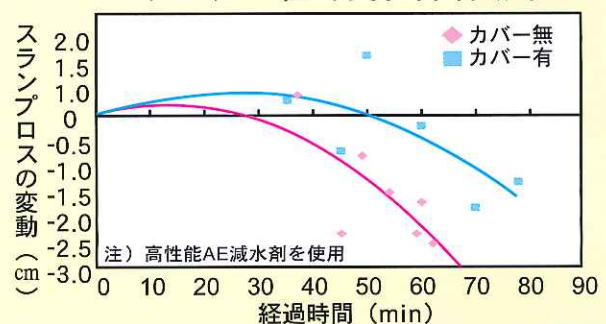
極東社 平成1年以降

*2 上記以外の車種は、受注生産となります。

ドラムクーリングカバーの温度抑制効果



スランプの経時変化抑制効果



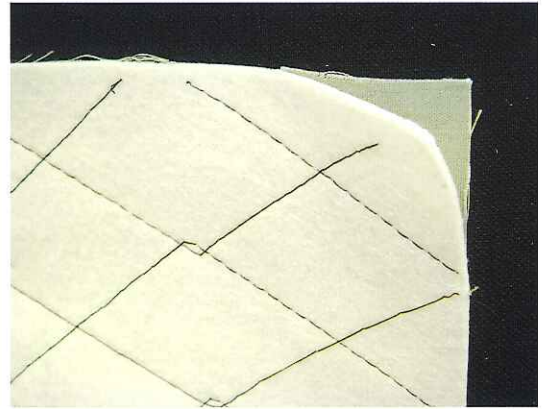
●本カバーの基本的構造

右図の様に二層構造の不織布と、表面素材をキルティングにより貼り合せた三層構造となっています。

表面素材には、内部に吸水した水分をカバー表面まで引き出す素材を用い、かつ表面まで染み出した水を太陽熱で容易に乾燥させる素材を選択しております。

親水性が極めて高い特殊繊維を採用する事で、繊維間に大量の水を溜める事に成功しました。

更に、中綿の基布となる素材は、表面素材と同様に導水性をもったものとなっております。



気化熱利用

●カラーバリエーション



グレー

イエロー

グリーン

●改良点、その他の素材

マルチフィットさせるため、D管部分を2重に配置しました。

その他の部分については以下の様な素材を使用しています。いずれの素材も、強度を十分に検討し、耐久性を確保しています。

(右図は、ベルト固定部分の拡大写真)

ベルト部：ナイロン100%
D管部：ステンレス



●スタイル

極めてシンプルでスマートなデザインです。



KYB社



新明和社

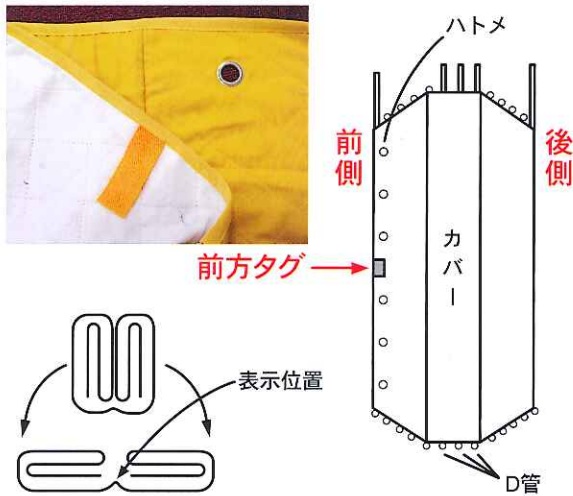
●ご注意

カバー装着時、ドラム等に塗装傷・錆等がある場合、錆等が発生する場合があります。

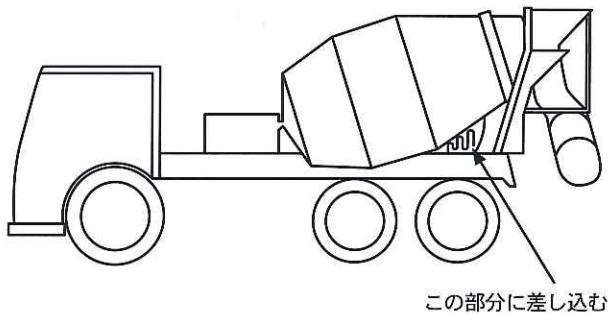
カバーを取り外し保存する場合は、良く乾燥させて下さい。水分を含んだまま長期間保存した場合、カビなどが発生することが御座います。

【カバー取り付け方法】

- ① ジャバラ状に畳まれたカバーを取り出し表裏、前後方向を確認する。



- ② ミキサー車の後部のドラムと車の隙間に、ジャバラ状に畳んだカバーを押し込む。



- ③ 押し込んだカバーの先端部を車の両側でつかみ、前方向に向けて広げる。

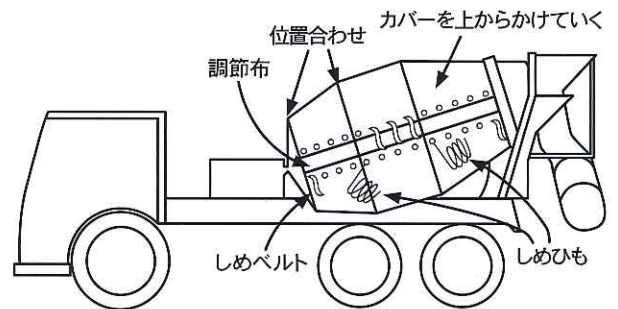


前に引いて広げる

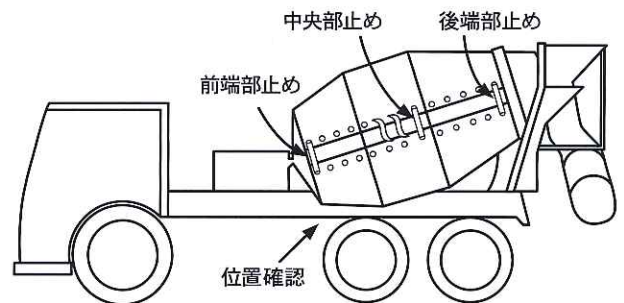
- ④ 全部広げてから、ミキサードラムに巻き付ける様にカバーを掛け、ドラム中央の平行部とカバー平行部の位置を確認して、カバーの先端とドラムの先端を合わせ仮止めする。



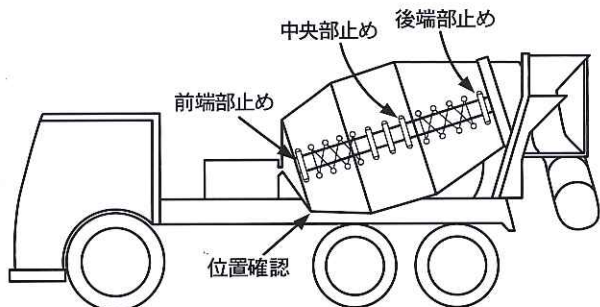
- ⑤ カバーのベルトがついている側には調節のための布がついているので、この布をD環のついている側の下に押し込む。



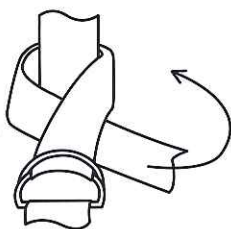
- ⑥ 中央部のベルトを仮止めし、前後の位置が揃っているかどうか再度確認する。カバーの余った部分は下側カバーを折り返して入れる。



- 7 先に前端部、後端部のベルトを強く締めてから、中央部のベルトをゆるみの無いように、前後方向にしわの無いように締める。その後テーパ部分のひもを上交互に締め込む。



- 8 ベルトの余った部分はベルトの裏側に潜らせてから、端のベルトを裏側に回す時出来た隙間に押し込み、更に余っていれば同様の作業を繰り返し、外でブラブラしないようにする。



- 9 締め付けが完了したら、ドラムを低速で回転させ、カバー及び締めたベルトやひもが台車にあたっていないか確認する。

- 10 配線のパイプがあたることがあるので、この場合にはパイプ取り付け金具を、パイプがドラムから遠くなるように曲げ、調節する。

- 11 再度ドラムを回転させ、あたらないことを確認する。

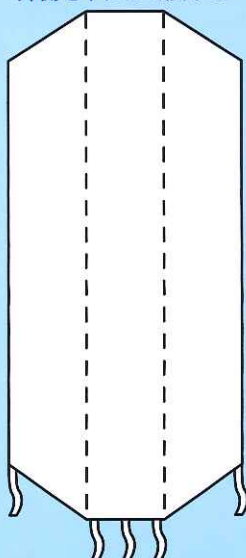
- 12 取り付けが完了したら水をかける。この場合水がかかると初めにキルティング加工した縫い目が黒ずみ、十分に水を吸い込むと全体が黒ずんで見えるようになる。これを必ず確認する。



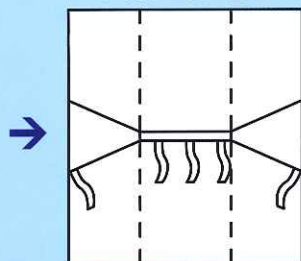
【カバー収納方法】

カバーは完全に乾いていることを確認して収納する。取り付け状態であれば、天気の良い日に4時間ほど乾かせば完全に乾燥するが、取り外した状態では、広げて半日乾かし、ひっくり返してさらに半日乾かす必要がある。

外側を下にして広げる



両端を中央で合わせ内側に向けて折り畳む



再度中央で合わせて折り畳む



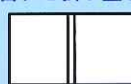
編み上げに使用したひもで縛る



更に半分にする



長手方向を中央に合わせ折り畳む



中央で半分にする



【カバー保存方法】

カバーは湿気の少ない棚の上などに保管するのが望ましい。カビが発生し生地劣化する原因になるため、雨のかかる所や地面に直に置いてはならない。